

【専門教育科目/看護の展開/精神看護学】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
精神看護援助論Ⅱ	NSP33_007	必修	1	3	前期	
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー			
森川三郎	417	s.morikawa	水曜日 12:10~13:00			
授業の目的・概要	精神看護学概論・精神看護援助論Ⅰの内容をふまえて、精神的な健康逸脱状況にある人への治療と看護援助に関する知識及び具体的方法を獲得することを目的とする。精神科における各種の治療、関係する法律、及び観察・コミュニケーション・患者・看護師関係などの精神看護における援助技法を教授する。更に看護過程の流れとプロセスレコードの概要を教授し、その後に行われる臨地実習の準備とする。授業は関連する動画を取り入れて行う。					
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク		
学習上の助言	学習効果を上げるためには、必ず教科書の各回に関連する箇所及び事前に配信(配布)する授業資料(PPスライド資料他)を読んでおくこと。また各回のリアクションペーパーによってフィードバックを行い、共通の内容については次回の授業初めに、個別の内容についてはメール等で振り返る。					
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・系統看護学講座専門分野Ⅱ①精神看護の基礎/著:武井麻子/医学書院/2021第6版 ・系統看護学講座専門分野Ⅱ②精神看護の展開/著:武井麻子/医学書院/2021第6版 [概論・援助論Ⅰ・実習と合わせて2冊指定]					
参考書	認知行動理論に基づく精神看護過程/中央法規/岡田佳詠/2016					
外部教材	なし					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	精神科領域の代表的な治療的アプローチが理解でき、説明できる。			NS(1)(2)(4)		
②	患者家族及び精神科領域で協働する他職種を理解し、各々の立場・役割を説明できる。			NS(1)(2)(4)(5)		
③	社会復帰関連事業を理解し、精神医療の全体像がイメージでき、説明できる。			NS(1)(2)(4)		
④	精神科の看護技法(観察・コミュニケーション・患者看護師関係)を理解し、活用できる。			NS(1)(2)(3)(4)		
⑤	精神科医療に関する法律の概要を理解し、患者・家族の状況が理解できる。			NS(1)(2)(3)(4)		
⑥	看護過程・プロセスレコードの学習を通して、臨地実習の準備ができる。			NS(1)(2)(3)(4)		
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	精神科治療の基本として精神療法・作業療法及びレクリエーション療法を学ぶ。	講義	復習として授業資料を読み返す。精神分析について教科書で予習する。	1		
2	精神療法の基礎理論による違いを理解し、無意識を中心とした療法及び関連知識を学ぶ。	講義	復習として授業資料を読み返す。認知療法・行動療法について教科書で予習する。	1		
3	指導・教科を中心とした療法(認知療法及び行動療法等)について学ぶ。関連動画を15分視聴する。	講義	復習として授業資料を読み返す。支持を中心とした療法について教科書で予習する。	1		
4	支持を中心とした療法(カウンセリング及び非指示的療法)及び関連知識を学ぶ。	講義	復習として授業資料を読み返す。家族への援助について教科書で予習する。	1		
5	精神疾患患者の家族の状況と特徴について理解し、家族療法及び家族支援方法を学ぶ。関連動画を9分視聴する。	講義	復習として授業資料を読み返す。他職種・社会復帰関連事業について教科書で予習する。	1		
6	精神医療で協働する他職種(Dr・OT・PSW・CP等)の役割及び社会復帰関連事業を学ぶ。関連動画を8分視聴する。	講義	復習として授業資料を読み返す。精神科リハビリテーションについて教科書で予習する。	1		
7	オープンダイアログ・ストレングスマodel等精神医療に関する今日の概念を学ぶ。関連動画を12分視聴する。	講義	復習として授業資料を読み返す。精神科に関する法律の変遷について予習する。	1		
8	精神保健福祉法を学び、精神障害者がおかれてきた歴史的状況と今日の状況について学ぶ。関連動画を7分視聴する。	講義	復習として授業資料を読み返す。精神科での行動制限について教科書で予習する。	1		
9	入院形態、人権と面会・通信・隔離・拘束等の行動制限を中心に精神保健福祉法を学ぶ。関連動画を12分視聴する。	講義	復習として授業資料を読み返す。観察技法について教科書で予習する。	1		
10	精神面・身体面・日常生活・発達段階・対象関係・対処行動を中心に精神看護における観察技法を学ぶ。	講義	復習として授業資料を読み返す。コミュニケーション技法を教科書で予習する。	1		

【専門教育科目/看護の展開/精神看護学】

11	コミュニケーションの基礎を概観し、精神科での治療的コミュニケーション技法を学ぶ。関連動画を27分視聴する。	講義	復習として授業資料を読み返す。患者-看護師関係について教科書で予習する。	1
12	精神看護における患者-看護師関係の展開について、ペプロウ・外口玉子・川野雅資らの考え方を学ぶ。	講義	復習として授業資料を読み返す。基礎・成人看護で学んだ看護過程について予習しておく。	1
13	精神科領域において看護過程を展開するために必要な知識を学び、情報収集・アセスメントの方法を学ぶ。	講義	復習として授業資料を読み返す。教科書②の「プロセスレコード」に関する箇所を予習しておく。	1
14	プロセスレコードの記載方法を学び、自己理解・対象理解・関係理解の方法を学ぶ。	講義	復習として授業資料を読み返す。「必携カード98」から自分の学籍番号のカードに関係する事柄について調べておく。	1
15	「精神科看護必携カード98(データ版)」の中の各自の担当カードに関する事柄を調べ、その内容をプレゼンテーションし合い、精神科看護の知識をまとめる。	講義 プレゼンテーション	15回までの授業資料を振り返り、精神看護についての学習を復習する。	1
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		90	0	10	0	0	100
総合 能力 指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	5	0	0	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	5	0	0	5
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法	
試験	①	✓	筆記試験:講義で得られた知識を問う。試験内容は、授業全般を通じた精神看護に関する基本的な知識の理解のために、択一問題及び正誤問題を出題する。総合的な理解度の確認のためにテーマに関する記述問題を出題する。	試験採点后に、模範解答と試験結果に基づいた分析結果をメール等で各学生に配信する。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤	✓		
	⑥	✓		
その他	①	✓	各回のリアクションペーパーの内容及び「精神科看護必携カード98(データ版)」の自身が調べた内容及び発表について、表現伝達する力、取組みの姿勢・意欲、問題を発見・解決する力を評価する。	各回の授業についてのフィードバックは次回の授業で振り返る。「精神科看護必携カード98」は発表後にコメントする。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤	✓		
	⑥	✓		

備考

他担当教員	
教員の実務経験	20年以上の精神科臨床看護に携わった経験を持つ。
実践的授業の内容	授業の中に実際の事例を取り入れ、学生の現実的な理解を促す。また、看護過程においては、オリジナルな患者事例を提示し、実際の臨床現場で行なわれている看護を再現しながら看護方法を教授している。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。 ○授業時間中に生じた疑問・質問は、その段階で直接教員に質問すること。それ以外は、授業終了後かリアクションペーパーによって行うこととして、全体に関する内容については次回の授業開始時に回答する。 ○今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更の可能性がある。 ○本授業は、これに続く精神看護実習に必要な知識・技術を中心として構成されているので、自分が臨床に立った時をイメージして、積極的に学んで欲しい。 ○第15回は、オリジナルの「精神科看護必携カード98」をデータファイルとして作成し、精神科看護全体の知識(臨地実習・国家試験対策等)の獲得をはかるものである。